

令和7年9月17日

那須烏山市議会議長 青 木 敏 久 様

文教福祉常任委員会委員長 荒 井 浩 二

決算審査結果報告書

本委員会に令和7年9月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和7年9月9日（火）及び10日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 荒井浩二、平塚英教、堀江清一、矢板清枝、滝口貴史
- 4 説明のための出席者
市民課長 黒尾明美、福祉事務所長兼健康福祉課長 岡 誠、こども課長 水上和明、
学校教育課長 齋藤浩文、生涯学習課長 塩野目豊一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和6年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、一部反対意見はあったものの、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・熊田診療所については、令和6年度に運営体制が変更となり、地域住民との新たな信頼関係が形成されつつある。今後も安定的な地域医療の提供に努め、地域の現状や経営状況に応じた運営方針を検討されたい。
- ・かかりつけ医との診療情報連携事業は、本市・医師・患者本人との連携が取れた事業であり、病気の早期発見や重症化防止への効果が期待できる。マイナ保険証により共有される薬の服用状況を活用することによって、より効果的に事業を実施し、健康保

持・増進に向けて人間ドック受診率向上を図られたい。

健康福祉課

- ・重層的支援体制整備事業は、市民の多様化した支援ニーズに対応し、継続的な伴走支援を行ってきた。今後は、さらに多くの課題が出てくることを予測して、適切な支援体制を展開されたい。
- ・健康マイレージ事業について、高齢者と小中学生の参加者が大幅に増加したことを評価する。引き続き周知活動に努め、中間層年齢を中心に、幅広い世代の健診受診率向上と健康づくりの動機付けを図られたい。

こども課

- ・令和6年度に開設したこども家庭センターについて、本市では関係課がともに連携を取りながら、かねてより継続的な支援を行っていることを評価する。今後も改善を加えながら利用者に寄り添った切れ目ない支援に努められたい。
- ・若者交流事業について、事業の目的とこれまでの実績を踏まえて事務分掌を再検討し、若年層に向けた補助制度等の周知により一層努められたい。

学校教育課

- ・令和6年度をもって終了となった中学生部活動サポート事業やスーパーティーチャー育成事業については、これまでの実績で得られた成果が、部活動の地域移行や、教員の学業指導向上等推進事業に十分活かされることを期待したい。
- ・有用な人材の育成及び教育の機会均等に資することを目的とした「奨学資金制度」については、奨学基金の状況に応じて給付の資格要件の見直しを検討されたい。
- ・スクールバスの運用に関しては、車両の老朽化等により、更新と運行状況の検討が迫られている。将来的な学校再編も視野に入れ、運行ルートをはじめとした効率的な運行方法の調査研究に努められたい。

生涯学習課

- ・電子図書館について、市内小中学校との連携により利用登録者が増加していることは大いに評価する。読書率向上に寄与している取組であることから、さらなる登録者拡大と利用者数増加に向けて、引き続き努力されたい。
- ・ジオパーク構想推進事業については、「那須烏山ジオパーク構想」推進プラン2023－2025に従い事業を進めるとともに、自然・風土・文化財等の地域遺産をより本市に適した形で地域振興や郷土愛醸成に活かせるよう、独自の新たな事業形態を検討されたい。